

いきものみつけ

News.
Vol.29

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会

編集：事務局 竜王

住所：甲賀市土山町黒川

電話：090-7966-2262

FAX：0748-68-0598

E-mail: ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp

平成29年6月20日発行

六月十一日、黒川の田んぼでの観察会を行いました。
今回は、水口子ども森の河瀬学芸員をゲストティチャーにお願しました。晴天の空の下で、みんながいきいきといきもの観察。実は希少種であるアカハライモリの大群にも子どもたちはすっかり慣れました。五月の田植えの時には少なかったオタマジャクシが増えており、オタマジャクシから足が出てきているものも見つけました。河瀬学芸員からは詳しい生きものの名前だけではなく、①まずは、そっとのぞいてから可能ならすくうようにつかまえること、②両生類は皮膚全体で呼吸していること③黒川の田んぼは他の田んぼでは見られないほどのたくさんの生きものがいることを教えてもらいました。



クラブであっても、いきもの好きな子どもたちが楽しめ学べるクラブは、甲賀市では少ないので続けてほしいな」とエールをいただきました。

いきものみつけ観察会
「そっとのぞいて、
そっとつかまえよう」



マル千張りからの準備～苗植え しかし、日照りが続き・・・

今年は、オーナーの松岡さんが療養中ということもあり、いメンバーさんで、マルチシート張り、印つけなど前日から準備のお手伝いをしました。苗も良い苗で、みんなで行った苗植えはあっというまに終わりました。しかし、その後の日照りが続いたことで、苗は枯れてしまい・・・、植え直しました。やはり、野菜物には水はつきものであることを痛感したわけです。秋にお芋が収穫できるか・・・？(祈)



シマヘビの抜け殻



いきものいっぱいの
黒川の水田

ヨシノボリ↓
←アオイトトンボの仲間
アカハライモリ→

